



感性豊かに、たくましく生き抜く子

町野小

明るく、元気に、前向きに

輪島市立町野小学校
学校だより 特別号

学校評価だより（中間報告）

先日は学校評価アンケートに回答をいただきありがとうございました。保護者アンケート、児童アンケートをもとに、職員が自己評価した結果をお知らせいたします。また、学校関係者評価委員の皆様にも、保護者アンケート、児童アンケート、自己評価を提示し、ご意見をいただいております。皆様からのご意見も参考に改善しながら、後期の学校運営を行ってまいります。

学校関係者評価委員の皆様

- 学校評議員：廣江雄幸氏・水口トモ子氏・一二三秀仁氏
- 地域関係者：谷紀美子氏（公民館長）・大久保与次氏（南志見地区代表）
- 保護者：細谷樹史氏（PTA会長）

R5 学校評価表

評価項目	今年度の重点項目	担当者	評価規準・評価の観点	具体的な取組	実現状況の達成度判断基準	時期・評価材料	R5 第1回 自己評価	取組状況、改善策等
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	①学校安全の推進	教頭 生徒指導主事 養護教諭 食に関する指導担当	児童の安全を確保するためのマニュアルに沿って職員が対処できるように周知されている。	・避難訓練の充実 ・災害時における児童の引き渡し訓練 ・アレルギーへの対応 ・AED講習会	アンケート「子どもたちの安全に注意をはらっている」（保護者）「安全のための取組」（教員）の『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末保護者アンケート 教員アンケート	100% 100%	A ・教職員にアレルギー対応訓練、高学年児童にAED講習会を実施した。
	②道徳教育の充実	道徳教育推進教師	道徳の授業では、学校行事や特別活動、実生活等との関連付けをしながら、道徳性が高まるように努めている。	・考え議論する授業を行い、板書を写真に撮り各教室で掲示する。 ・道徳教育に関する研修会の開催	アンケート「道徳の授業で、自分を見つめ、考え合う授業づくりを行っている」の『肯定的な評価』の割合（教員アンケート） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末教員アンケート	89.0%	A ・授業で児童の考えをまとめた板書を掲示した。 ・研修の内容や別様の活用について伝達、研修を行った。
	③読書活動による心の教育の推進	図書館担当	『読書冊数月平均10冊』等の啓発活動において、目標値を達成できるように、読書活動の推進が図られている。	・朝読書の充実 ・毎月の「読書の日」の取組 ・図書室の利用の推進 ・低学年100冊の目標設定 ・高学年80冊の目標設定	学校全体の1ヶ月の読書冊数平均 A：10冊以上 B：7冊以上9冊未満 C：5冊以上7冊未満 D：5冊未満	！学期末読書記録等学校全体としてのデータをもとにする・読書調査	72.0%	B ・朝読書と「読書の日」を実施した。 ・7月までの貸出し期間を3カ月分として算出した。ABIは72.0%
	④健康と心の教育の推進	養護教諭	児童は、自分の歯や口の中の健康を意識して、丁寧に歯みがきをしている。	・生活アンケート ・さわやかカード	「ていねいな歯みがき」の『肯定的な評価』の割合（児童アンケート） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末児童アンケート	81.0%	B ・生活アンケート結果では全員が夜の歯みがきができていた。しかし「丁寧な歯みがき」については児童と保護者の意識のずれがある。みがき残しのないブラッシングについては今後も継続して指導していく。
					「ていねいな歯みがき」の『肯定的な評価』の割合（保護者アンケート） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末保護者アンケート	54.0%	C
					アンケートの「困った時は先生や友達など相談できる人がいる」の『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末児童アンケート	98.0%	A ・ほとんどの児童が悩みを相談できると答えている。今後も相談しやすい環境を積極的に提供していく。
	⑤児童理解に基づく生徒指導体制の充実	生徒指導主事	児童理解連絡会での共通理解と共通指導の徹底、人間関係づくりに関する校内研修会の開催等により、児童のよりよい人間関係の構築に努めている。	・児童の状況の的確な把握と、それに基づいた適切な指導	アンケートの「困っている友達がいたら進んで助けている」の『肯定的な評価』の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末児童アンケート	86.0%	A ・道徳やいろいろな活動を通して、思いやりの心を育んでいく。
					定期的な児童理解連絡会の開催及びアンケート「相手の気持ちを考え行動している」の肯定的な評価の割合 A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末児童アンケート	86.0%	A 児童理解連絡会のみならず、気になる事案は終礼で共通理解し対応策を話し合った。素早い対応を今後も継続していく。
	⑥特別支援教育の充実	特別支援教育コーディネーター	特別な支援を必要とする児童への共通理解を深め、全員一致した体制で、積極的に支援を行っている。	・特別な支援を必要とする児童への対応（外部機関との連携・保護者との面談）を学期に行っている	外部機関との連携・保護者との面談 A：3回以上 B：2回 C：1回 D：0回	外部機関・保護者面談の回数	100.0%	A ・外部機関との連携は10回、保護者面談は8回実施した。今後も必要に応じ連携や面談を実施していく。
	⑦年間を通じた体力・運動能力づくり	体力づくり担当	学校教育全体で、体力向上の取組を行っている。	・年間を通じた体力・運動能力づくり ・授業や行事の工夫	「体力が向上している」の『肯定的な評価』の割合（保護者アンケート） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末保護者アンケート	86.0%	A 体力・運動習慣の2極化が大きい。授業時間・業間を生かして底上げを行うとともに、保護者への啓発も行う。
	①指導の充実	研究主任	主体的・対話的で深い学びにつなげるために、授業改善を行っている。	・学力向上プランの日常的な取組	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート6） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末教員アンケート	100.0%	A 教員も一人一人が主体的な学校研究とするために、成果・課題・改善策についての協議を複数回設定した。
					アンケート「今までの学習との違いから、課題を見つけようとしている」の『肯定的な評価』の割合（児童アンケート6） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満	！学期末児童アンケート	79.1%	B 児童の言葉から課題をつくる習慣ができてきたが、一部の児童への支援が不十分である。
アンケート「学習リーダーの指示を聞いて、自分たちで学習を進めようとしている」『肯定的な評価』の割合（児童アンケート5） A：85%以上 B：70%以上85%未満 C：50%以上70%未満 D：50%未満					！学期末児童アンケート	72.1%	B どの学年も学習リーダーの進捗が定着してきたが、1年生はまだできていない。単式でも低学年でもできるような環境づくりを行う。	

13 14 15	2 「学び」のある学校づくり	教務主任	校内『漢字・計算テスト』『診断テスト』で、当該学年・当該教科の目標通過率を達成できている。	・パワーアップタイム等による基礎 ・基本の定着、活用問題の指導	達成できている児童の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	『漢字カテスト』90点以上の合格者数	90.5%	A	テスト期間は、帯タイムや宿題に積極的に取り入れ、ミニテストを取り入れたり宿題の点検の精度を上げたりなどして、できるだけ合格できるように支援した。	
			学習理解の定着に対して、個別指導等のフォローアップ指導が行われている。	・学習内容の定着のための個別指導 ・放課後学習による個に応じた組織的指導	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末教員アンケート	100.0%	A	児童の実態に応じて、各担当者が児童の困り感に寄り添った指導を工夫しながら行っている。	
			『学習ルール』をもとに、全校一致して指導にあたり、授業規律の確立に努めている。	・授業規律の確立	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末教員アンケート	100.0%	A	授業準備や「話を聞く」指導を重点的に取り組んだ。友達の話の聞くことを、2学期は重点的に取り組んでいく。	
16 17	②児童の学びの姿勢	生徒指導主事担任	『生活のきまり』をもとに、全校一致して指導にあたり、ルールを守るよう指導が行われている。	・生活ルールを守る指導	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート5） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末教員アンケート 1学期児童アンケート	100% 91%	A	ルールを守ろうとする意識はあるが、廊下を走る児童がいるため、粘り強い指導を心がけていく。	
			児童の家庭学習のめやすの時間が守られている。（1・2年:30分、3・4:45分、5・6年:60分）	・「家庭学習時間」調査	達成できている児童の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	「家庭学習時間」調査	59.4%	C	平日の達成率はまずまずだが、週末の達成率が低い。週末に習い事等の予定があり、予め計画的に家庭学習に取り組んでいるためだと思われる。	
18 19	③家庭学習の充実	教務主任	計画的に学習の復習を繰り返し行い、理解定着に努めると共に、授業の予習なども必要に応じて行っている。	・自学ノートの活用	自学ノートに個々の課題に応じた復習・予習をしている児童の割合 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	・自学ノートの取り組み状況	73.8%	B	学習範囲や取り組み方について個別指導や全体指導を効果的に行うことで、自分の課題に応じた学習に取り組む児童が複数名いる。	
20 21 22			3 「連携」のある学校づくり	①積極的な情報公開	教頭情報担当	HPの更新、学校だよりや学級だよりの定期的な発行等を通して日々の教育活動を保護者や地域に伝えている。	・各種お便りの定期的発行、ホームページの更新による情報発信	アンケートの『肯定的な評価』の割合（保護者アンケート15）（教員アンケート14） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末保護者アンケート 教員アンケート	100.0%
21	②保護者、地域、関係機関との連携	教務主任		地域の素材を元に、学習活動を行ったり、地域の人材を活用したりして、地域の教育力を積極的に活用している。	・地域体験学習 ・地域人材の活用	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート11、12） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末教員アンケート	100.0%	A	今後も地域の人材や地域の素材を基にした学習を積極的に取り入れ、継続していく。
22	教頭	学校は、保護者が連絡、相談したことに丁寧に対応している。		・組織的対応	アンケートの『肯定的な評価』の割合（保護者アンケート16） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末保護者アンケート	96.0%	A	保護者からの相談事は、管理職に報告し、対応している。欠席児童への連絡も、今後も継続していく。	
23 24 25 26	4 人材育成と業務の改善	①職員の資質・能力の向上	研究主任	年間6回以上の研究授業を行い、事後研究会で自身の課題を明確にし、授業改善に努めている。	・職員の校内・校外での研修の充実	研究授業の回数（全体） A: 7回以上 B: 5~6回 C: 2~4回 D: 2回未満	研究授業の回数	2回	C	計画通りの回数は行っている。今年度は、研究発表もあるため、多くの人に参観してもらえらる。
24			教頭	『模擬授業』、『研究授業整理会』等の充実により、授業力の向上が図られている。	・授業づくり・授業力向上に向けての校内研修の充実	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート7） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末教員アンケート	100.0%	A	ベテランから若手まで年齢構成に幅があるため、教え合う環境づくりがしやすい。また、少人数のため話しやすい。
25			教頭	校内研修等を通して、学校全体で知識を深め、対応力、指導力の向上を図る。	・校内研修 ・若プロ研修	アンケートの『肯定的な評価』の割合（教員アンケート） A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満	1学期末教員アンケート	100.0%	A	講義型の研修だけでなく、ICTを活用しながら全員参加型の研修会を取り入れる等、形態の工夫も見られた。
26			②業務の改善	教頭	見通しを持つなど業務改善を意識して、業務にあたっている。	・研究チームの機能化 ・定時退校日、マイ定時退校日の設定と実施 ・業務の平準化	時間外勤務時間が平均月45時間以内の教員数 A: 85%以上 B: 70%以上85%未満 C: 50%以上70%未満 D: 50%未満 アンケート業務改善を意識して業務に当たっている（教員アンケート）	勤務時間調査 1学期末教員アンケート	47% 77%	C

【学校評価委員からのご意見】

- ・今年の夏は、猛暑のせいか、外遊びする子どもの姿は見かけなかった。夏休み中は、東大野のプールを利用する親子が多くいたようである。
- ・朝、路線バスから降りた子に「おはよう」と声をかけたが、挨拶を返さない子がいた。根気強く、声をかけ続けていこうと思う。
- ・歯みがきを丁寧にするのは、小学生は無理ではないか。低学年は、まず、歯みがきを習慣づけることを目標にしたらいいのではないか。
- ・数年前の高校生の話だが、昼食後、列を作って歯みがきをしていた。小中学校での教えが高校まで生きていると思われる。
- ・夏休み中の公民館行事で、バスに乗って輪島市内の施設や朝市見学をした際、挨拶の声は小さかった。「元気ないな」と言われたら、少し大きくなった。朝市で買い物体験をし、値切り交渉できる子がいた。「マリタウンで遊ぶのが楽しい」と言っていた。
- ・夏休み中の、「ふるさと5千人の祭典」で、中学生のよさこいに感動した。中学生の姿を見た小学生もたくさんいたが、小学生が中学生の言うことを聞くというのは、カッコいい中学生の姿を見ているからではないか。
- ・自己肯定感が高いことがとてもいい。「親から褒められている」と答える児童が8割近くいる。
- ・親も子どもに「ありがとう」をいえるように心がけていくといい。

【考察】R5

1 『安心』のある学校づくりにかかわって

- ・9月現在のところ、いじめ、不登校はゼロです。しかし、「学校が楽しい」と答える児童は86%です。「楽しくない」原因は、「授業はわかりやすい」の質問に否定的な児童との関連が強いです。誰もがわかりやすい授業づくりを心がけ、楽しい学校生活になるようつとめていきたいと思えます。また、家庭や地域でいじめと思われる言動を見つけた場合は学校までお知らせください。
- ・児童の歯みがきの習慣については、児童アンケートと保護者アンケートでは評価にズレが見られました。児童は学校給食後の歯みがきはできているつもりなのですが、家庭では朝晩の歯みがきが丁寧でないという現状があると考えられます。保護者の皆様には、今一度児童と話し合い、歯磨きについて指導してくださるようお願いいたします。
- ・児童のあいさつの声がまだまだ小さいです。児童アンケートでは「自分から大きな声で挨拶している」91%だが、保護者・教員はそう捉えていません。粘り強く声かけし、9月のグッドマナーキャンペーンで、保護者・地域の方とも協力しながら大きな声であいさつを言うように、指導しています。

2 『学び』のある学校づくりにかかわって

- ・学習活動では、課題意識を持って授業に取組み、自分たちで学習を進めていけるような授業作りをしています。学習リーダーが授業を進行する場面を設定し、複式学級・単式学級にかかわらず、主体的に授業に取り組む姿をめざし、10月26日には市指定研究発表会で市内の先生方にも授業を参観してもらおう予定です。
- ・家庭学習の取り組みは、平日は目標時間を超過して学習しており、休日は時間が少ないです。金曜日に土日の分をまとめて終わらせている子が多く、計画性の面では良い傾向だと捉えています。

3 『連携』のある学校づくりにかかわって

- ・今年度、ホームページの更新は前期までに60回以上行ってきました。各種便りも、月1回以上発行し、児童の様子を伝えていきます。今後も、ホームページや便りで随時紹介していきたいと思えます。
- ・保護者からの相談事は、迅速に対応しています。個別に話を伺ったり、学校の考えを伝えたりすることを今後も続けていきます。

4 人材育成と業務の改善にかかわって

- ・4~5月は時間外勤務が多かったが、だんだん減り、業務改善を意識して、19時半までに退校するよう心がけている様子が見られます。子どもと向き合う時間の確保のために、さらなる改善に取り組むためにも、保護者の皆様、地域の皆様には、今後も学校の取組をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。